全教員を対象とした生成AI活用研修事業業務委託に係る提案競技　質問・回答

No.	質問項目	質問内容	回答
1	実施環境について	通常はどのようなツール（Zoom、Google Meet等）を使用されていますでしょう。 　また、受講時は『先生方が一人一台の端末を使用し、各校から個別に接続する』想定でしょうか。 　その場合、校内の教職員が一斉に同時接続しても問題ない通信環境（ネットワーク帯域）が整備されているかご教示ください。」	・実施経験からzoomでの研修をお願いします。 ・受講時は、各学校が約３～６教室にわかれ、各教室から１台ずつ接続し、映像を確認しながら受講するハンズオン研修を想定しています。 ・接続環境は問題ありません。
2	1. 実施環境について	既存プラットフォームの有無について 「福岡市の教職員の皆様が日常的に使用されている、独自のプラットフォーム（教育用LMSや校務支援システム等）や、 　連携させるべき教材データベースなどはございますでしょうか。」	特にありません。
3	1. 実施環境について	③ 集合研修（対面）の可能性について 「仕様書には『原則としてオンラインで実施』とありますが、例えば7月以降～10月中旬の期間において、 　1日または半日×2回程度の『集合研修（対面）』を一部組み込むことは可能でしょうか。もし可能な場合、大まかな実施候補日（または時期）をご教示いただけますと幸いです。」	集合研修は想定していません。
4	実施環境について	生成AIツールのアカウント（有料/無料）について「研修で扱う指定の生成AIツール（NotebookLM、Canva、Gemini）について、先生方が実習で使用されるのは『無料版』と『有料版』のどちらのアカウントを想定されていますでしょうか。機能に差があるため、前提条件として 　確認させてください。」	Google for EducationのNotebookLM、Gemini、及びCanva　for　EducationのCanvaAIとなります。教育機関向けライセンスの導入済みですので、それを想定して研修を企画してください。
5	実施要領　５　委託内容（２）事前・事後の連絡調整について	研修動画や資料類は福岡市様のアカウントをお借りしてGoogle WorkspaceのGoogleサイトに事業者が構築・格納し、そのURLを共有する方法でもよろしいでしょうか。	福岡市のアカウントをお貸しすることは、想定していません。
6	実施要領　５　委託内容（３）研修形態について	福岡市様のアクセス環境は、MicrosoftTeams、Google Meet、Zoomなどの主要なWebツールはご利用できるでしょうか。利用できないものがあればご提示ください。	これまでの実施経験から、基本的にzoomで行っていただきますようお願いします。
7	実施要領　５　委託内容（６）研修運営について	オンライン研修の「操作支援」は、参加者を現地で支援するのではなく、オンライン上でできる範囲での支援という認識でよろしいでしょうか。	その認識で間違いありません。
8	仕様書　４　履行場所について	「教育委員会が指定する場所で実施することができる」というのはオンサイト研修のことと認識しておりますが、想定しているオンサイトでの開催候補地は複数ありますでしょうか。	「必要に応じて、教育委員会が指定する場所で実施することができる」の記述は、オンサイトのことではなく、オンラインで配信する場所を示す記述となります。基本的には、ネット環境が整っている場所で配信していただいて構いません。また、現在、オンサイト研修は想定しておりません。
9	仕様書　４　履行場所について	オンサイト研修の実施回数はどれくらいでしょうか。	オンサイト研修は想定しておりません。
10	仕様書　５　委託業務の内容 （３）研修内容の構成（例）	ア～ウと例示がありますが３種類程度の研修をご想定されている認識でよろしいでしょうか。	基本的にその認識で間違いありません。ハルシネーションなども含めた生成AIリテラシーや日々更新される生成Aについて、よりより研修内容案があれば提案ください。
11	事前・事後の連絡調整	1. 連絡手段として、ヌーラボ社のBacklogを使用してよいか？ （googleフォームを使ってメールアドレスを収集し、Backlogに招待する形を想定）	要領５　委託内容（２）に記載の通りです。
12	事前・事後の連絡調整	受講予定の職員はメールアドレスを全員個別に保有しているか？	本研修において、職員のメールアドレスを使用する取組みは想定しておりません。
13	事前・事後の連絡調整	URLや資料を共有するための「福岡市限定のHPサイト」を構築する場合、ログイン認証は市が既存で導入しているアカウント（Google WorkspaceやMicrosoft Entra IDなど）との連携（SSO）が必要か。それとも受託者側で独自にID/PWを発行・管理する形式でよいか	受託者側で構いませんが、本市の教員のみが入室可能なパスワードを設定するなどの工夫を行ってください。

14	事前・事後の連絡調整	「教育委員会及び各学校との連絡調整」について、研修当日の時間帯以外の平日に、教員からのシステム操作やAIに関する問い合わせを受けるヘルプデスク（電話・メール等）を常設する必要はあるか	必要ありません。
15	仕様書「５ 委託業務の内容（１）研修の企画・設計」	「ICTや生成AIの活用経験に差がある教員であっても参加可能な内容とすること」とある。教員間のリテラシーの差に配慮するための具体的な手法として、全40回の研修をすべて同一の内容とするのではなく、例えば「AI初心者向けコース」と「発展的活用コース」のように、参加者のレベルに応じて研修コンテンツを複数パターン用意・分割して提案することは可能か。	提案することは可能ですが、一つの学校が同一日、同一時間帯に受講できるようにしてください。
16	仕様書「５ 委託業務の内容（１）研修の企画・設計」	研修回数の変更は許されるか（例えば、月1回の全12回程度に圧縮する形態でもよいか。）また実施日時を（毎月第◯曜日の◯時）と固定してよいか。	それは認められません。
17	仕様書「５ 委託業務の内容（１）研修の企画・設計」	研修動画はZOOMの録画のみをYoutubeにアップする形で特別な編集（字幕や効果追加）はしなくてもよいか。	特別な編集は必要としません。
18	仕様書「５ 委託業務の内容（１）研修の企画・設計」	オンライン（同時双方向型）研修において、1回あたりの最大同時接続数は最大何名程度を想定しているか。また、配信に使用するWeb会議ツール（ZoomウェビナーやTeams等）のライセンスは市から貸与されるか、受託者の費用負担で用意する必要があるか	大規模校でも一校につき、10アカウント程度での入室となります。40回のうち１回に10校入っても100アカウントになります。１回あたりの学校数は希望日調査を行っての決定となります。Web会議ツールは受託者負担となります。
19	仕様書「５ 委託業務の内容（１）研修の企画・設計」	録画動画をアップロードするYouTubeアカウントは、福岡市教育委員会の公式チャンネルを利用してアップロードを行うのか、それとも受託者側で本事業専用のチャンネル（限定公開用）を作成し運用するのか	受託者側での準備、運用をお願いします。
20	仕様書「５ 委託業務の内容（１）研修の企画・設計」	全40回のスケジュール設計において、学校側の業務負担（教員の働き方）に配慮し、例えば夏季休業期間などの長期休みに研修回数を重点的に配分するなど、時期によって実施頻度に強弱をつけるスケジューリングを提案することは可能か。	各月に配分しつつ、夏季休業中などの長期休業日の研修が多いスケジュール提案は可能です。ただし、教育委員会と事前に調整する必要があります。
21	研修内容（例） または生成 AI活用研修の企画及び実施	特別支援学級はコンテンツを分ける必要があるのか？分ける必要がある場合、その差異をご教示いただきたい。	特別支援学級で分ける必要はありませんが、特別支援学校の３回については、iPad使用を用いての生成AI研修を行ってください。
22	研修内容（例） または生成 AI活用研修の企画及び実施	Cursor、Github、サクラのクラウドなど、前提として指定されていないプログラム環境やインフラを利用してよいか	指定された生成AIのみの研修をお願いします。
23	研修内容（例） または生成 AI活用研修の企画及び実施	生成AIを使って簡単なアプリケーションを実装、リリースできるような内容の研修を行ってもよいか	３時間の研修において、他の内容も含めた適切な時間配分ができるのであれば可能です。
24	研修内容（例） または生成 AI活用研修の企画及び実施	研修で扱う生成AI（Notebook LM、Gemini、Canva AI）は、市として有償版（教育機関向けライセンス等）を導入済みか、または無償版の利用を前提として研修を企画すべきか	Google for EducationのNotebookLM、Gemini、及びCanva for EducationのCanvaAIとなります。教育機関向けライセンスの導入済みですので、それを想定して研修を企画してください。
25	研修内容（例） または生成 AI活用研修の企画及び実施	仕様書に『常に最新の生成AIの内容に更新した研修にしていくこと』とあるが、全40回の研修期間中において、毎回の受講者アンケート結果やAIツールのアップデート情報を踏まえ、期中でも段階的にカリキュラムやマニュアルを改訂していくアジャイル（継続的改善）型の運用を提案内容に含めることは、評価の対象となるか。	「提案競技審査項目及び配点」にも記載されているように、追加提案として付加価値のあるものであれば評価対象となります。
26	事業実施期間 総事業費関連	本事業の委託期間（契約期間）は「令和9年3月31日まで」であるが、YouTube動画や関連資料は「令和10年3月31日まで視聴・活用可能」とし、当該期間のデータ管理が求められている。令和9年4月1日から令和10年3月31日までの1年間に発生するポータルサイトのサーバー維持費やデータ保存管理費は、今回の提案見積額（上限9,680千円）に含めて算定すべきか	今回の提案見積額に含めて算定してください。
27	仕様書＞６ 実施対象＞（２）実施時間・回数	小中学校の教員用：37回、特別支援学校用：3回とありますが、これは、同じ内容の研修をそれぞれ37回と3回実施するという認識でお間違いないでしょうか。	要項に記載されています通り、「常に最新の生成AIの内容に更新した研修」をお願いします。

28	仕様書＞５ 委託業務の内容＞（１） 研修の企画・設計	「活用経験に差がある教員であっても参加可能な内容とすること」との記載がございますが、研修設計の参考とさせていただきたく、想定されている参加者のスキルレベルにつきましてご教示賜りますようお願い申し上げます。また、参加者のレベルに応じて、研修内容を特定のアプリケーションに絞ることは可能でしょうか。実践的な活用を重視する観点から、複数のアプリケーションを広く扱うよりも、いずれかのアプリケーションを深く活用できる内容とした方が効果的であると考えております。	全く使用したことのない先生から、日常から使用している先生をイメージください。他の質問は、要項に記載の通りの生成AI研修を行ってください。
29	研修で使用予定のアプリケーションについて	研修で使用予定のアプリケーション（NotebookLM、Gemini、Canva AI）につきまして、利用形態（無料版／有料版）およびご使用予定のプラン名をご教示いただきますようお願い申し上げます。	Google for EducationのNotebookLM、Gemini、及びCanva for EducationのCanvaAIとなります。教育機関向けライセンスの導入済みですので、それを想定して研修を企画してください。